

胃内視鏡検査説明同意書

目的

- ・ 食道、胃、十二指腸を内視鏡で観察します。
- ・ 食道がん、胃がんを早期発見すると、手術や内視鏡治療で根治することができます
- ・ 胃潰瘍や逆流性食道炎などの症状の原因を検索することが可能です。
- ・ 内視鏡観察をすることで、保険を用いたピロリ菌診断、除菌が可能です。
(ピロリ菌感染は胃がんや胃潰瘍の原因となり、除菌が勧められています。)

検査に伴う危険性・偶発症

- ・ 細胞の検査をする場合(生検)、組織採取部位からの出血が起こる可能性があります。
検査後2、3日は飲酒の機会がないように調整をお願い致します。
- ・ その他重篤な合併症は内視鏡学会の報告で0.0005%程度とされています。

お鼻を通して検査をすることが可能です。

- ・ 鼻腔の通過が良い方は反射が少なく、楽に検査を受けることが可能です。
- ・ 逆に 鼻腔の通過が悪い方(変形、むくみ、痛み)がある方は、痛みや鼻出血のリスクがあるため、口からの挿入をお勧めします。

点滴の麻酔で、うとうとしながら検査を受けることが可能です。

- 1) 検査後1時間前後 休憩が必要となります。
- 2) 麻酔当日は車、バイク、自転車などの運転を控えてください。
- 3) 付き添いが望ましいですが、無理な場合、連絡のつくかたの連絡先を教えてください、必要時には連絡させて頂く場合があります。
- 4) 麻酔薬による呼吸、循環障害やアレルギーの可能性があるため
リスクが高いと判断した方は麻酔をお断りする場合があります。

費用に関して・・・概算、目安

2割負担の方は下記費用(3割負担)の3分の2、1割負担の方は3分の1になります。

	観察のみ	生検検査	ピロリ菌検査(採血、呼気など)
3割負担	4000円前後	7000円前後	追加で1000円程度

* 受診や前投薬の費用を含んでおりません。

* ピロリ菌検査は各種あるため、内服状況などを判断し最適なものをお勧めします。

* ドック(自費)の方は15000円前後ご用意ください。